

8020 運動推進特別事業 事業報告

8020 推進アンバサダー養成事業

1 事業目的

既存の取組みと連携した歯科の啓発を促進するため、地域の保健医療関係者を 8020 推進アンバサダーとして養成し、各職種の活動と連携した歯科保健の啓発活動の拡がりを目指す。

＜8020 推進アンバサダー＞

役割：歯と口の健康が全身の健康と関連していることを理解し、多様な既存の健康づくりの取組みと連携した歯科に関する啓発を実施する。また、各職種内で歯科に関する啓発活動を広める。

2 事業結果

2-1 事業実施検討委員会の実施

有識者、関係団体、歯科医師、歯科衛生士を委員として検討委員会を立ち上げ、以下のとおり開催した。

第1回

【開催日時】令和5年5月23日（火）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【内 容】事業概要と事業計画について

講師養成研修会及び8020推進アンバサダー養成研修会の内容検討
8020推進アンバサダー活動状況調査の内容検討

第2回

【開催日時】令和6年2月15日（木）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会

【内 容】8020推進アンバサダー養成研修会の実施報告及び課題分析

8020推進アンバサダー活動状況調査結果の報告及び分析
次年度事業の検討

検討委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

	氏 名	所 属
委員長	山本 道也	大阪府歯科医師会 常務理事
委員	土居 貴士	大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授
〃	坂中 哲人	大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学講座 助教
〃	山口世志子	大阪府看護協会 地域包括ケア事業部 部長
〃	橋本 通子	大阪府栄養士会 参与
〃	間狩みな子	大阪府歯科衛生士会 副会長
〃	北垣 英俊	大阪府歯科医師会 常務理事
〃	岩本 治	大阪府歯科医師会 理事

2-2 講師養成研修会の実施

圏域内で8020推進アンバサダー養成研修会の運営を担う地区歯科医師会の歯科医師及び歯科衛生士に対して、研修会の実施方法等について説明を行った。

【開催日時】 令和5年6月13日（火）18時30分～

【開催場所】 大阪府歯科医師会

【講 師】 大阪府歯科医師会 常務理事 山本 道也
 大阪府歯科医師会 常務理事 北垣 英俊
 大阪府歯科医師会 理事 岩本 治
 大阪府歯科衛生士会 副会長 間狩 みな子

【説明内容】

- ・ 事業背景と事業概要
- ・ 地区における事業実施スケジュール
- ・ 事業費の内訳と取り扱い
- ・ 研修会実施に係る注意点やポイント
- ・ 啓発資料やガイドラインを使用した研修会の実施方法

【参加者】 9名（吹田地区2名、茨木地区1名、柏原地区4名、富田林地区2名）

2-3 8020推進アンバサダー養成研修会の実施

啓発資料や8020推進アンバサダー活動ガイドラインを用いて、4医療圏（豊能、三島、中河内、南河内）において各2回、地区歯科医師会運営のもとで研修会を実施した。参加者の募集にあたっては、大阪府看護協会及び大阪府栄養士会、研修会を開催する圏域の自治体にご協力いただいた。

1) 豊能圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月13日（金） 13時～14時

【開催場所】吹田市口腔ケアセンター

【講師】吹田市歯科医師会 会長 三木 秀治
 歯科衛生士 吉村 明子
 歯科衛生士 増田 昌子

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明
 啓発資料の使用デモ

【参加者】8名（保健師1名、管理栄養士7名）

第2回

【開催日時】令和5年11月10日（金） 13時～14時

【開催場所】吹田市口腔ケアセンター

【講師】吹田市歯科医師会 会長 三木 秀治
 歯科衛生士 吉村 明子
 歯科衛生士 増田 昌子

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインの補足説明
 グループワーク「担当する教室等に取り入れることができるか」
 意見交換

【参加者】9名（保健師1名、管理栄養士8名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・高齢者対象の教室でオーラルフレイルの資料を活用したい。
- ・啓発資料の内容について、その根拠の説明がほしい。
- ・歯ブラシの喉突き事故や歯の脱落について、保護者への説明の機会がある時にしていきたい。
- ・糖尿病の方の食事指導時に歯周病のことも説明したい。

2) 三島圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月12日（木） 14時～15時30分

【開催場所】茨木市保健医療センター

【講師】茨木市歯科医師会 副会長 柚木 求見
茨木歯科衛生士会 会長 大森 和子
茨木歯科衛生士会 森本 ゆかり

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明
(糖尿病と歯周病の関係、特定健診とお口の健康、
乳幼児の成長と歯とお口の健康、幼児期から小学生の事故防止、
幼児の食事と歯とお口の健康、フレイルとオーラルフレイル)

【参加者】8名（看護師1名、管理栄養士6名、事務1名）

第2回

【開催日時】令和5年11月2日（木） 14時～15時30分

【開催場所】茨木市保健医療センター

【講師】茨木市歯科医師会 副会長 柚木 求見
大阪府歯科衛生士会 会長 山口 千里
茨木歯科衛生士会 会長 大森 和子

【研修内容】前回の研修の復習
啓発資料の使用デモ
意見交換

【参加者】10名（看護師2名、保健師1名、管理栄養士6名、事務1名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・歯について相談されると回答できず、歯科医院へ行くように勧めていたが、知識をつけて相談に乗ることができるよう研修会に参加したので、実際に活用したい。
- ・ドラッグストア内に健康ステーションを立ち上げて、オーラルフレイルの啓発を行っていたが、研修で知った口の体操を取り入れたことで、楽しく指導することができた。
- ・幼児の食事について悩んでいる保護者が多く、栄養面だけでなく、歯についてもアドバイスをしていきたい。
- ・介護予防教室などで講話を行っているが、スライドの中に資料を入れて活用し、歯科へつなげていきたい。
- ・特定健診の保健指導を行う中で今まで歯科について話をしたことがなかったが、糖尿病と歯周病の関係について話していきたい。
- ・看護師の方からは、施設や病院での口腔ケアについて学びたい、研修会を行ってほしいという要望があった。

3) 中河内圏域

第1回

【開催日時】令和5年9月14日(木) 14時～15時30分

【開催方法】WEB開催(Zoom)

【講師】柏原市歯科医師会 会長 藤本 喜之
関西女子短期大学歯科衛生学科 准教授 花谷 早希子
関西女子短期大学歯科衛生学科 講師 古賀 恵

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明
(口腔の解剖・生理・発生、ライフステージに応じた8020達成の為
の対応策)

啓発資料の使用デモ

【参加者】7名(看護師3名、保健師2名、管理栄養士2名)

第2回

【開催日時】令和5年11月7日(火) 14時～16時30分

【開催場所】柏原市立保健センター

【講師】関西女子短期大学歯科衛生学科 教授 細見 環
関西女子短期大学歯科衛生学科 准教授 花谷 早希子
関西女子短期大学歯科衛生学科 講師 古賀 恵

【研修内容】8020達成の意義と前回の復習

口腔ケアの実際 実技

咀嚼能力測定 実技

口腔体操 実技

口腔清掃具の説明

意見交換

【参加者】4名(看護師1名、保健師1名、管理栄養士2名)

【意見交換の内容、事後評価】

- ・参加者の歯科保健に対する認識、啓発に対する心構えに大きな変化が見られた。
- ・座学だけでなく、機器を用いた実技実習も行うことで意欲的に受講された。今後の各職種での活動に取り入れられることが期待される。

4) 南河内圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月24日（火） 14時～15時

【開催場所】富田林市民会館 農林会議室

【講師】富田林歯科医師会 副会長 宋 連玉
大阪府歯科衛生士会 幹事 橋場 佳子
大阪府歯科衛生士会 常務理事 松井 貴美

【研修内容】事業説明

歯科衛生士による保護者への指導例

（乳幼児の成長と歯とお口の健康、幼児期から小学生の事故防止）

歯科衛生士による成人への指導例（特定健診とお口の健康）

質疑応答

【参加者】11名（看護師2名、保健師5名、管理栄養士4名）

第2回

【開催日時】令和5年11月14日（火） 14時～15時30分

【開催場所】富田林市民会館 農林会議室

【講師】富田林歯科医師会 副会長 宋 連玉
大阪府歯科衛生士会 訪問口腔健康管理委員会アドバイザー 臼本 鏡子
大阪府歯科衛生士会 幹事 橋場 佳子

【研修内容】参加保健師による保護者への指導デモ（幼児の食事と歯とお口の健康）

参加管理栄養士による成人への指導デモ（糖尿病と歯周病の関係）

参加保健師による介護者への指導デモ（フレイルとオーラルフレイル）

グループディスカッション

質疑応答

【参加者】12名（看護師1名、保健師7名、管理栄養士4名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村の4か所の自治体からの参加者があったため、グループワークでは各地域の取り組みの情報交換ができて参考になったようである。
- ・啓発ツールを府民の健康指導時に有効に利用する方法（指導終了時に府民に手渡す指導文書に印刷しておく）を参加者の管理栄養士より提案いただく等、通常の研修会より具体的テクニックの紹介の多い研修会であった。
- ・若い参加者が多く、ベテランによるデモンストレーションは指導内容だけでなく言葉かけや雰囲気づくりの参考にもなったようであった。
- ・歯磨きやおやつに関するだけでなく、口腔機能発育不全や機能低下の予防に歯科からも有効な指導ができることを認識していただけた。
- ・「痛くなってから歯医者へ」という従来の歯科に対するイメージを「痛くなる前に歯医者へ」に変えてもらう意味と有効性を理解していただけた。

【アンケート結果】

(1) 研修内容について理解できましたか

	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
よく理解できた	17	70.8%	26	83.9%
おおむね理解できた	7	29.2%	5	16.1%
どちらでもない	0	0.0%	0	0.0%
あまり理解できなかった	0	0.0%	0	0.0%
理解できなかった	0	0.0%	0	0.0%

(2) 内容に対しての研修時間は適切でしたか。

	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
短い	0	0.0%	1	3.2%
やや短い	5	20.8%	5	16.1%
適切	18	75.0%	25	80.6%
やや長い	1	4.2%	0	0.0%
長い	0	0.0%	0	0.0%

(3) 今後、府民啓発の場で活かせる内容はありましたか。

	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
大いにあった	9	37.5%	16	51.6%
あった	14	58.3%	14	45.2%
どちらでもない	1	4.2%	1	3.2%
あまりなかった	0	0.0%	0	0.0%

2-4 8020推進アンバサダー活動状況調査

令和4年度に養成した8020推進アンバサダー（12名）に対して、その後の活動状況に関する調査を行った。

【調査結果】

(1) 職種をご回答ください。

	人数	%
看護師	2	16.7%
保健師	1	8.3%
管理栄養士	9	75.0%

(2) 8020推進アンバサダー養成研修会にてご提供いたしました啓発資料をその後、府民向けに使用しましたか。

	人数	%
使用した	8	66.7%
使用していない	4	33.3%

(3) どの啓発資料を使用しましたか。（複数回答可）

	人数
乳幼児（1～3歳）の成長と歯とお口の健康	3
幼児期から小学生の事故防止	1
幼児（3歳～就学前）の食事と歯とお口の健康	2
糖尿病と歯周病の関係	4
特定健診と歯とお口の健康①	4
特定健診と歯とお口の健康②	4
フレイルとオーラルフレイル	7

(4) どのような形式で使用しましたか。（複数回答可）

	人数
紙媒体（チラシとして配布する等）	8
データ形式（パワーポイントを投影する等）	1

(5-1) 使用した資料の加工の有無についてご回答ください。

	人数	%
資料を加工せずそのまま使用	5	62.5%
資料を加工して使用	3	37.5%

(5-2) どのように加工しましたか。

- ・クリニックで歯周病の関連する部分を切り取り、指導用紙に使用。
- ・「赤ちゃんの歯磨き」の配布資料にチラシの内容を引用。
- ・クリニックでの栄養指導、企業での書面指導、介護予防の講座にて使用。

(6) 具体的にどのような場面で使用しましたか。

活動内容	場所	対象者 (人数)
相談員研修 (看護職など) 他イベントによる啓発など	まちの保健室	全世代
まちの保健室	まちの保健室各会場	成人～ (複数)
まちの保健室	まちの保健室各会場、イベント開催時のまちの保健室	対象中高齢者 (数十名)
高齢者向け男性料理教室 (食事の話と共にオーラルフレイルについて説明)	地域の文化会館	高齢者男性 (12名)
個別指導	クリニック	糖尿病患者、高齢者等
大阪市内子育てプラザでの活動	大阪市内子育てプラザ	0歳～3歳児の保護者
守口市子育て支援ファミリーサポーター養成講座	守口市中部コミュニティセンター	ファミリーサポーター養成講座受講者 (6名)
門真市歯科健康展	門真市保健センター	食育ゲームに参加した子どもの保護者 (45名)
個別栄養指導	クリニックの栄養相談室	高齢者 (10名)
書面指導	書面を郵送	企業の社員 (70名)
介護予防の講座 (講話)	大阪市内の老人の憩いの家等	高齢者 (約100名)

(7) 差し支えなければ、使用していない理由についてご回答ください。(複数回答可)

		人数
活動内容に合わないため		0
活動の対象者に合わないため		1
歯科専門職でない職種が使用するには内容が難しいため		0
使用したかったが、準備が間に合わなかったため		1
その他	担当歯科医師から講話があったため	1
	機会がなかったため	1

(8) 啓発資料の今後の使用についてご回答ください。

	人数	%
ぜひ使用したい	4	33.3%
使用したい	8	66.7%
どちらでもない	0	0.0%
あまり使用したくない	0	0.0%
使用したくない	0	0.0%

(9-1) 8020推進アンバサダー養成研修会の受講後、同職種内でその内容を共有しましたか。

	人数	%
共有した	9	75.0%
共有していない	3	25.0%

(9-2) どのように共有しましたか。

- ・グループの会議、定例会議、研修会にて報告、資料の共有
- ・栄養士の理事会で研修会の目的と申し込みについて説明
- ・所轄の保健所の栄養士にも情報案内としてメールで共有
- ・まちの保健室の現場へ行き、その日の担当相談員へ直接共有
- ・まちの保健室相談員研修で相談員（看護職）に説明し、使用を促した

3 事業評価

令和5年度事業では、令和4年度に本事業の検討委員会にて作成した啓発資料やガイドラインを用いて、4医療圏において各2回、地区歯科医師会運営のもと、地域で活動する保健医療関係者向けに8020推進アンバサダー養成研修会を実施した。

研修会には延べ69名（看護師、保健師、管理栄養士、事務）が参加した。

今年度は対象圏域内の市町村にも研修会の案内を送付したことで、看護協会、栄養士会の会員だけでなく、市町村所属の保健医療関係者も交えて様々な立場から意見交換等ができたことが好評であった。

研修会のアンケートでは、概ね理解度が高く、今後、府民啓発の場で活かせる内容が「大いにあった」または「あった」とほぼ全員が回答した。参加者からは「歯科について考える時間を少しでも増やし、啓発活動につなげたい」、「歯科受診の大切さを伝えていきたい」、「歯科専門職がない場面でも啓発資料を使用していきたい」等、本事業の趣旨に非常に沿った前向きな意見が得られた。

令和4年度に養成した8020推進アンバサダーを対象に実施した8020推進アンバサダー活動状況調査では、昨年度の研修会受講後に6割以上の方がすでに活動の中で啓発資料を使用しているという結果であった。具体的に、まちの保健室や料理教室、地域の健康展、クリニック等の多岐にわたる場面で使用されていることが分かった。

調査の時点では啓発資料を「使用していない」と回答した方も含め、今後の使用については全員が「ぜひ使用したい」または「使用したい」と回答しており、今後より多くの場面で広く活用されることが期待できる。

また、研修受講後に同職種内での情報共有をすでに4分の3の方が行っており、各職種内において歯科の重要性を広めるという8020推進アンバサダーとしての役割も果たされている。

検討委員会では、8020推進アンバサダーとなった保健医療関係者がいかにして継続して実施していくか、各職種の活動の中での定着を目指すことが重要との意見もあった。

本事業は次年度が最終年度となるが、各圏域での地区歯科医師会による研修会に加え、2年間で養成した8020推進アンバサダーを通じて歯科の重要性を各職種内に浸透させることで、さらに幅広く多職種による歯科に係る啓発を広げていく必要がある。